

この一言がきく！

ある雑誌を見ていると「言うことをきかない子が変わる一言」と題して、子育てにとり示唆に富んだことが述べられていましたので紹介します。

「言うことをきかない、親の意のままにならない。親からの不満として、よくきくことですが、その不満を言う前にちょっと考えてみませんか？言うことをきかせる、思うようになってほしい・・・それは、いずれも親の満足のためにしていることではないですか？愛しい子どもがいる。まず、それだけで十分じゃないですか。そう思うことができたなら、子どもが言うことをきかなくても、その思いは受け入れることもできるでしょう。受け入れて抱きしめてあげれば、いまはダメでも、きっと言うこともきいてくれるようになりますよ。

＝ダメと言ってもきかない＝

友だちの誕生祝いを買ったおもちゃ屋で、自分のほしいミニカーをねだって、いくら言ってもきかない・・・、こういうことってありますよね。

○言っではいけない一言

『いいかげんにしなさい。もう二度と連れてこないからね。』

◎望ましい一言

『大好きなものがあるってスゴイね。でも、今日は、〇〇ちゃんのプレゼントを買ってきたんだよね。』

せっかくの関心を受け入れてあげると、親の言うこともきいてくれるようになります。

頭から否定しないことです。

＝約束を守らない＝

小学校も中学年から高学年になると、遊んでいて家に帰る門限を破ることもふえてきます。理由をきくと、『友だちが・・・』と人のせいにすることはありませんか。

○言っではいけない一言

『そんな友だちとは、遊ぶのやめなさい。』



◎望ましい一言

『破るための約束なら決めないほうがいいね。門限はなしにする？』

こう言ったとしても大幅に遅れることはないと思います。少しの遅れで帰ってくるようなら、そのこともちゃんと認めてあげましょう。」

保護者が、忙しかったり、イライラしていたりすると、ついつい言ってはいけない一言を子どもに言っているということはないでしょうか。視点をかえて子どもに考えさせるようにすると、案外素直に親の言うことをきいてくれるのではないかと思います。

〔貴重な体験〕



ー 5年生が奈良公園でオリエンテーリングー

20日に、5年生が、遠足で奈良公園に行きました。当日は、暑くも寒くもなく絶好の遠足日和で、本校の子どもたち以外にもたくさんの他校の子どもたち、また、観光客が来ていました。奈良公園に到着した後、まず、各学級でまとまり東大寺大仏殿を見学しました。その後、各組の子どもたちが、それぞれ5グループに分かれオリエンテーリングをしました。コースは、二月堂→三月堂→手向山八幡宮→若草山の麓→春日大社→万葉植物園→飛火野です。子どもたちは、「奈良公園ルートマップ」を持って、それぞれのポイントにおられる先生方にシールを貼ってもらいながらゴール地点の飛火野を目指しました。

5年の子どもたちは、今まで、4年の遠足と5年の林間指導と2回オリエンテーリングを経験しています。今回は、3回目ということでしたが、途中で車道もありいくつか迷い道もありと無事ゴール地点の飛火野にたどり着けるか心配しました。しかし、各グループの子どもたちは、マップをたよりにみんなで協力し合って、全グループが、無事ゴール地点の飛火野に到着することができました。

子どもたちにとって貴重な体験ができた遠足でした。

